

特集

「しあわせ信州」を全国に！そして世界へ！

～進めています「信州ブランド」～

「健康長寿」「勤勉で教育熱心な県民性」「自然の美しさや環境との共生」といった信州の風土や日常の暮らしの中にある「信州の価値」。

県では県民の皆さまとともに「信州の価値」に磨きを掛けて、統一感のある「信州ブランド」として国内外に発信していきます。

発信のためのシンボルは「信州ハート」、合言葉は「しあわせ信州」。「信州の価値」がもたらす「しあわせ」を多くの人と分かち合うための取り組みが始まっています。

ご存知ですか 「信州ハート」

「信州ハート」は信州から生み出される質の高い本物の価値を国内外の皆さまに統一感を持ってお届けするために、今年3月に生まれたロゴマークです。



しあわせ信州

信州をイメージするグリーンで雄大な自然や人の喜びで生まれた信州の「しあわせ」を表現。込めた思いは多くの皆さんと「しあわせ」を分かち合いたいということ。

3色のグリーンは左側から、「豊かに広がる森林や田園」「気高くそびえる山々」「清らかな川の流れや湖」を表し、そこに3つの「信州の価値」を重ねています。

信州の価値

信州ブランドとは？

みずみずしい野菜や果物などの農畜産物、技が光る伝統的工芸品など信州が誇る製品やサービスと、それを生み出した信州の風土や県民性も含めた「信州の価値」そのものが「信州ブランド」です。

健康長寿

- 日本一の長寿
- みずみずしい野菜や果物 など



勤勉で教育熱心な県民性

- 全国1位の就業率
- 「技」が光る伝統的工芸品 など



自然の美しさ・環境との共生

- 日本一の山岳環境
- 美しく豊かな農村風景 など



信州ブランド研究会

花岡 会長 にお聞きしました！

(セイコーエプソン株式会社 相談役)

長野県経済の基盤強化には何が必要か。その答えのひとつが、他県にはない素晴らしいものごとの付加価値を高め、「信州ブランド」として世界へ発信することです。「信州ブランド戦略」を策定したことはその第一歩です。



「世界へ発信」とは世界で受け入れてもらうということ。そのためには商品やサービスの価値を高めるのはもちろん、例えば「このワインはこういうこだわりがあって、この食材を使った、あの料理とあわせて飲むと最高だ。」というような、受け手に分かりやすく伝わる「ストーリー」も必要です。

また、後に続く皆さんの目標となるトップランナーを育てることも大切です。県には長い目の取り組みを期待しています。

届けています 信州の価値!

信州の気候・風土に生まれ引き継がれてきた味、「こだわり」や「思い」が込められた製品。信州の価値のさらなる向上に取り組む事例を紹介します。

七味唐辛子をベースに新たな魅力を発信

根元 八幡屋儀五郎

善光寺門前に店を構える八幡屋儀五郎。ブリキ缶に描かれた唐辛子と善光寺の変わらぬ組み合わせとその味は信州の七味唐辛子の代名詞的存在です。

近年は七味をベースにしたマカロンや調味料など新商品を送り出し、新たな魅力づくりにも積極的。「八幡屋儀五郎の間口を広げる。より多くの方に知ってもらいお客さまになっていただく。そのためには新しい魅力を加えて変えていくことも必要です。」と社長の室賀 豊さんは語ってくれました。

▶八幡屋儀五郎公式サイト <http://www.yawataya.co.jp/index.html>



特集

「しあわせ信州」を全国に、そして世界へ!
進めています。信州ブランド「しあわせ」

長野県
原産地呼称
管理委員会
認定

本物の価値を全国に

長野県原産地呼称管理制度

県内産の原料を使い、県内で造られたものを自信と責任を持って全国に発信するために平成14年にスタート。品質基準に加え、味を審査する「官能審査」をクリアしたのみ認定マークが与えられるなど、品質と味に妥協はありません。

ワインと日本酒からスタートし、焼酎、米、シードルに拡大。信州の本物の価値を全国にお届けしています。

▶長野県原産地呼称管理制度 <http://www.pref.nagano.lg.jp/nousei/nousei/aoc/nnac.htm>

▶認定品の取扱店舗一覧 <http://www.oishii-shinshu.net/original-food/nac.html>



原産地呼称管理制度への思い

AKOMEYA TOKYO (アコメヤ トウキョウ)

「日本のごはん」をコンセプトに銀座に開店した「AKOMEYA TOKYO」。「食卓を豊かに、日常にハレを演出できるおいしいもの」を各地から厳選。認定品のワインや日本酒も扱われています。

「原産地呼称の制度にはレベルの高い生産者や加工業者が多いことが必須条件。制度が成り立つことがレベルの高さを表しています。」とバイヤーの長田 博文さんが評価してくれました。



▶AKOMEYA TOKYO 東京都中央区銀座2-2-6
営業時間 お買い物 11:00~21:00
他のコーナーの営業時間を含むお店の詳細はこちら
<http://www.akomeya.jp>

銀座 だいしん

「信州料理」が看板の「銀座 だいしん」。酒はもちろん信州産。認定品を含めた信州の酒を週替わりで提供しています。

「広い信州は水や土も個性豊か。それが酒の魅力になっています。」と同店スタッフで利酒師の玉岡 あずみさん。制度についても「確実に信州の酒の底上げにつながっています。最近では、制度を知るお客さまが増えて『認定品だね』とおっしゃる方もいます。」と語ってくれました。



▶銀座 だいしん 東京都中央区銀座8-10-8 銀座8丁目10番ビル地下1階
営業時間 ランチ 11:30~15:00 定休日 日曜日・祝日
ディナー 17:30~23:30 (金のみ24:00まで)
お店の詳細はこちら <http://ginza-daishin.net/index.html>

東急百貨店 本店 和洋酒売場「THE WINE」

国内外の3,000種類のワインを扱う「THE WINE」。認定品を含む県産ワインが30種類ほど扱われています。

「長野県の多様な気候条件が生むワインには、驚くほど高品質のものがあります。」と同百貨店の和洋酒バイヤーの駒場 啓さん。制度についても「目標となる品質の基準を示して厳しい審査をする。それが品質を高めています。これからもその厳しさを守っていただきたい。」と信頼を寄せてくれました。



▶東急百貨店 本店 東京都渋谷区道玄坂2-24-1
営業時間 (地下1階) 10:00~20:00
他フロアの営業時間など本店の詳細はこちら
<http://www.tokyu-dept.co.jp/honten>

認定品を扱う皆さまの声をお聞きしました

目指せ日本一! 信州ブランド!

「しあわせ信州」のイメージで魅力UP

幸福度No.1、長寿日本一、豊かな自然・・・信州の持つポテンシャルの高さが、良いモノやサービスをさらに際立たせます。

「掘り起こそう、足元の価値。伝えよう、信州から世界へ」。皆さんも「信州ブランド」づくりに参加してみませんか！



掘り起こそう、足元の価値。
伝えよう、信州から世界へ。

信州には、自然、歴史、文化、人の絆など、たくさんの「価値」=宝物があります。しかも、それは私たちの身近な所=足元にあるのです。

「掘り起こした足元の価値」を国内外の多くの人々に伝え、それらの人々にとってもかけがえのないものとして認められるよう、県民の皆さまと一緒に外へ外へと発信していきます。

特集

「しあわせ信州」を全国に！そして世界へ！
～進めています～「信州ブランド」プロジェクト

発信します!
信州ブランド!

JA長野県グループ

県内各地の農協や組合員の皆さんとともに、長野県のおいしい農畜産物を全国に届けているJA長野県グループ。

会長をはじめとする役員の名刺に、信州ハートとキャッチフレーズを掲載。「メイド・イン・信州が一目で分かるマーク。県と一緒にトップセールスすることも多いので、『オール長野県』での取り組みをアピールしたい。」と、その理由を話してくれたのはJA長野中央会総務企画部次長の清水 勝彦さん。「信州ハートを使えば農産物加工品や直売所へ出荷する農家さんの発信力向上につながる。組合員の皆さんにも使用を呼び掛けたい。」と、今後の展開も語ってくれました。



八ヶ岳乳業株式会社

長野と山梨両県にまたがる八ヶ岳山麓。そこで生産された牛乳を県内外へ届けているのが茅野市の八ヶ岳乳業株式会社。同社では県産牛乳100%の商品を首都圏向けに発売すること



を企画。そのパッケージに「信州ハート」を掲載する予定です。

「品質には自信がありますが、それに加えて長野県産をもっとアピールできる何かを探していました。」と、品質保証課の小林 麻依さん。「信州ハートのグリーンは信州のイメージにぴったり。長野県産だと一目で分かるので商品のイメージアップにもつながると思います。」と、その採用理由を語ってくれました。

ロゴマークなどを使用するには…

信州のイメージアップやブランド力の向上につながるものであれば、事前の申請によりお使いいただけます。

▶申請方法の詳細は <http://www.pref.nagano.lg.jp/kanko/kankoki/brand/brandproject/newlogo.htm> をご覧いただくか観光部観光企画課信州ブランド推進室までお問い合わせください。

問い合わせ先：観光部観光企画課信州ブランド推進室
■電話：026-235-7247
■E-mail brand@pref.nagano.lg.jp

信州ハートを
使いたい!

信州を 選んだ私たち

#7

移住者の声をご紹介します

富士見町

中原 英貴 様
泉 様

移住された方の体験談を通じて、信州の魅力や移住のポイントをお伝えする「信州を選んだ私たち」。第7回は、長野県の南東、山梨県との県境にある八ヶ岳の山麓に位置し、西に南アルプス、北に北アルプス、南に富士山と日本有数の山々を見渡すことのできる富士見町に移住された中原さん夫妻です。

田舎暮らしに憧れ、東京都から移住してきた中原さんにお話を伺いました。



中原さんご夫妻(店舗前)

田舎暮らしに憧れて

私も妻も東京生まれの東京育ちです。仕事はテレビのディレクターをしていました。担当はアウトドアの番組。ロケであちこちに行くたびに「いつかこんなところに住みたい。」と思っていました。

その頃、仕事で知り合った構成作家の方が、原村に住みながら東京で仕事をしていました。仲良くなると仕事でもプライベートでも長野県に来る機会が多くなり、



インターネット版 広報

2013年 6月発行 07

ながのけん
NAGANO

04



しあわせ
信州

「田舎暮らし」がしたいと強く思うようになりました。

ただ、そうしても住むところが無ければどうにもなりません。「どうやって探そうか」と悩んでいたところ、構成作家の方が紹介してくれたのが富士見町の土地でした。妻も自分も紹介された土地が一目で気に入り、「東京でマンションを買うぐらいならば」と移り住むことを決断しました。

地域とのつながりと人生の転機をもたらした「パン教室」

移り住んできたものの、平日は東京で仕事、休日は富士見町という二地域居住を続けていました。一方、妻は、仕事も辞め、富士見町で生活していました。集落から離れた場所で地域とのつながりも薄く、一年半ぐらいで日々の生活に物足りなさを感じ始めたようです。パートに出ることも考えたようですが、製パンの資格を身に付けていたので「せっかくならば」と富士見町の近くでパン作りの教室を開くことにしました。

生徒の多くは町内の女性。おかげで妻は自分が東京で仕事を続けている間に、あれあれよと地元情報に詳しくなり、地域とのつながりも生まれました。

妻が始めたパン教室は、自分の人生の転機にもなりました。教室にある男性が入ってきたのですが、この方実は、コーヒーの焙煎機を造っている会社の社長さんでした。私もコーヒー好きでしたので社長さんと仲良くなり、その会社に遊びに行くことになりました。社長さんは自分の会社の焙煎機を使って焙煎したコーヒーを飲ませてくれました。この時のコーヒーが、私が若いころから追いかけていた味、澄んでいてほのかな甘みのある理想の味そのものでした。

私も生活の軸を富士見町に移すことを考えていたので、勢い半分で自家焙煎のコーヒー豆を売る店を出すことに決めま

した。社長さんに焙煎機を造ってもらい、焙煎の基本も教わりました。店は妻がパン教室を開いていた場所を改装して開店しました。今から6年前のことです。もし社長さんとの出会いがなければ、いまだに東京へ通う生活をしていたと思います。

今になると思うのですが、私たちのように移住してきた者は、豊かな自然など地域からいろんな物ももらっています。もらう一方ではなく「地域のために何かをやる。一歩踏み出してみる。」そうすると地域とのつながりができて世界が広がる。私たちにとっては、パン教室がその「一歩」でした。

おかげで私も妻も地域とのつながりが生まれ、富士見町での生活を本当に楽しむことができるようになったと思います。

富士見町の魅力

まずは「四季を感じることができる自然」です。東京では窓を開けずに一日中エアコンをつけ、天気も分らずに過ごす日もありました。富士見町では、天気や四季の移り変わりを感じることができます。犬の散歩を毎日していますが、周りの風景が日々変わっていくので同じ道を歩いても飽きることはありません。

それから「人の温かさ」です。ぶっきらぼうに感じることもありますが、自分たちが頑張っていると困ったときには親身になってくれる。そんな「人の温かさ」も魅力だと思います。

移住を考えている皆さんへ

大切なのは構えずに自然体でいることです。「移住したのだから、こういう生活でなければ」と構えると、どこかに無理が出ます。ゆっくり生活するために移り住んできたのですから、生活を楽しまなければ意味がありません。

日々の生活の中で楽しみを見つけ、少しずつ思い描いていた生活に近づけていけば良いと思います。あせることはありません。



入笠山から望む八ヶ岳と富士見町

■富士見町総務課企画統計係 <http://www.town.fujimi.lg.jp/rula>

移住・交流に取り組む
市町村のご紹介

筑北村

移り住むなら わが街へ



村内から見る北アルプス

筑北村は長野県のほぼ中央にあり、北は長野、南は松本、東は上田、西は安曇野の各市と接しています。里山に囲まれ、のどかな農村風景が広がっており、晴れた日には雄大な北アルプスの峰々を望むことができます。

移住を希望される方には、小さな村であることを生かしてワンストップ窓口で対応。子どもの医療費助成や住宅取得支援も充実しています。また、移住者による情報交換会を行うなど移住後のフォローアップも万全です。

■連絡先: 村づくり推進室
■U R L: <http://www.vill.chikuhoku.lg.jp/info/gov-info/post-47.php>
■電話: 0263-66-2211(代表) ■E-mail: murazukuri@vill.chikuhoku.lg.jp

しあわせ信州創造プラン推進中!

長野県では、「しあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)」に基づき、移住者の受け入れを積極的に進めています。
▶詳しくはこちら <http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kikaku/newplan/top.htm>